

県民の森 植物紹介 (42) ブナ (ブナ科)

平地では身近な木ではありませんが、東北の山地帯を代表する落葉高木です。その雄大で美しい姿から「森の女王」と呼ばれています。樹齢は200-300年。樹皮は、灰白色で滑らかで割れ目がなく、地衣類などがついて独特の斑紋をつくりだしています。

初夏、葉の展開と同時に花が咲きます。最初の葉が開き始めると、次から次へと新しい葉が顔を出し、数日のうちに一斉に葉が開きます。その激しさは生命の力を感じずにはられません。雌雄同株。上向きの雌花と、毛玉のぼんぼりのような黄色い雄花がぶら下がります。風で花粉を飛ばします。

秋に出来る果実は、高カロリーで、たんぱく質や脂肪分が多くて栄養豊富。人間が食べてもおいしいです。地面に根をおろしてから約50-60年かけて初めて実を付けます。ツキノワグマやリスなど山の動物たちの重要な食糧ですが、豊凶が著しい樹種です。豊作の翌年は動物たちの子どもがたくさん生まれます。ブナの森は、豊かな生態系といのちを育む母なる森だと言われています。美しく黄葉し、やがて褐色になり落葉します。

園内にはブナ林が点在し、登山をしなくてもブナに会うことが出来ます。また、県民の森から岩手山へアプローチする七滝登山道では、七滝から一服峠付近までのあいだ、豊かなブナの森のなかを歩きます。この一帯のブナは大径木が多く、四季折々のブナの魅力を存分に味わうことが出来ます。また、雪の季節には、無雪期は笹藪で近寄ることの出来ないブナの巨木に、スノーシューやスキーなどを履いて、会いに行くことが出来ます。



七滝登山道のブナ(七滝分岐付近) 2020年9月6日



冬芽 2020年4月6日



新緑 2020年5月8日



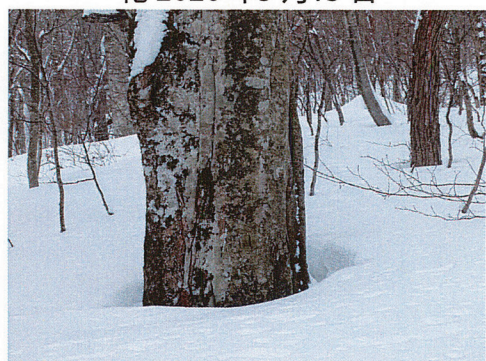
花 2020年5月13日



実 2020年8月21日



紅葉 2019年10月16日



巨木 2020年3月17日